

社会資本総合整備計画（地域住宅支援） 事後評価書

令和元年10月

計画の名称	1 青森市における歩いて暮らすことのできる質の高い生活空間の形成																
計画の期間	平成23年度～平成28年度（6年間）			交付対象	青森県青森市												
計画の目標	本市の中心市街地は、JR青森駅から東側へ伸びる青森停車場線（通称：新町通り）がメインストリートとなっており、商店街等も「新町通り」に枝葉のように張り付く形で形成されている。平成15年4月の地元百貨店の閉店以降、新町通り東側では、集客拠点の欠落により、歩行者通行量の減少や空き店舗の増加など、衰退傾向が強まっている。このことから、土地の共同化・高度化利用による住環境の整備や魅力ある空間形成をはじめ、市民や商店街関係者等との連携による“青森らしさ”を活かした取組や教育・人的交流の活動等を推進することにより、市民が安心して暮らすことのできる質の高い生活空間の形成を目指す。																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地における歩行者通行者数を 74,048人/日（H22）から 77,554人/日（H28）に増加 中心市街地における夜間人口を 3,547人（H22）から 3,737人（H28）に増加 																
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考							
							当初現況値 (H22)	中間目標値	最終目標値 (H28)								
①	中心市街地事業実施地区周辺における歩行者通行量（6月中旬の平日）を調査する。 歩行者通行量の増加（人/日）＝施設整備による増加分＋街なか住み替え人員数＋その他ソフト事業による増加分						74,048人/日		77,554人/日								
②	中心市街地における夜間人口を測定する。 夜間人口の増加（人）＝（新規の住宅供給戸数×平均世帯人員数）＋街なか住み替え人員数－人口推計による減少分						3,547人		3,737人								
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,015百万円	A	1,847百万円	B	0	C	168百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	8.3%							
事後評価																	
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期											
<ul style="list-style-type: none"> 本市の担当部局にて評価を実施 学識経験者等で組織する本市の社会資本整備評価委員会にて審議 						<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度10月 											
						公表の方法											
						<ul style="list-style-type: none"> 青森市ホームページにて公表 											
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考		
								H23	H24	H25	H26	H27	H28				
1-A-1	住宅	一般	青森市	間接	中新町ウエスト街区まちづくり協議会	中新町ウエスト地区優良建築物等整備事業	[共同化タイプ] 公益施設、オフィス等 0.15ha							709			
1-A-2	住宅	一般	青森市	間接	中新町センターまちづくり合同会社	中新町センター地区優良建築物等整備事業	[共同化タイプ] 集合住宅、商業 0.15ha							437			
1-A-3	住宅	一般	青森市	間接	古川一丁目12番北地区まちづくり協議会	古川一丁目12番地区優良建築物等整備事業	[市街地環境形成タイプ] 集合住宅 0.17ha							701			
合計													1,847				
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27	H28		
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費（百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27	H28		
1-C-1	商業	一般	青森市	間接	民間事業者	-	商店街空き店舗対策事業	家賃及び店舗改装等の支援	青森市							27	
1-C-2	商業	一般	青森市	間接	民間事業者	-	中心市街地にぎわいプラス資金融資	利子・保証料の補給等	青森市							65	
1-C-3	活動支援	一般	青森市	間接	民間事業者	-	中心市街地再整備促進事業	民間開発事業に係る初動期支援	青森市							7	
1-C-4	活動支援	一般	青森市	間接	民間事業者	-	戦略的中心市街地活性化事業	にぎわい創出に係る取組への支援	青森市							65	
1-C-5	活動支援	一般	青森市	間接	民間事業者	-	まちなかフィールドスタディ支援事業	学生団体の活動を支援	青森市							4	
合計															164		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	空き店舗を活用した新規出店者に対し支援することにより、商店街の魅力向上、雇用が確保されるほか、空き店舗の解消により安心して暮らせる生活空間の形成に寄与する。	
1-C-2	中心市街地における商業機能の充実に向けた民間投資を誘導するため中小企業者を対象とした融資制度を創設することにより、街の楽しみづくりと空き地・空き店舗の解消を図る。	
1-C-3	土地の合理的かつ健全な高度利用及び市街地環境整備に向けた事業化を促進することにより、中心市街地の都市機能の増進及び経済活力の向上を図る。	
1-C-4	中心市街地のにぎわい創出に係る取組（ハード・ソフト一体支援及びソフト単体支援）を支援することにより、中心市街地の都市機能の増進及び経済活力の向上を図る。	
1-C-5	中心市街地でのにぎわい創出など、多様な活動を行う、サークル等の学生団体を対象に、活動経費の一部を支援する。	

その他関連する事業																
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費（百万円）	備考	
								H23	H24	H25	H26	H27	H28			
C関連	活動支援	一般	青森市	間接	民間事業者	まちなかレンタサイクル事業	自転車レンタル	青森市							3	
C関連	活動支援	一般	青森市	間接	民間事業者	まちなかサポーターズ事業	おもてなしの向上等	青森市							4	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況			基幹事業の中新町ウエスト地区、中新町センター地区及び古川一丁目12番地区での優良建築物等整備事業と効果促進事業の8事業が完了し、まちなかのにぎわい創出及びまちなか居住を促進させたが、歩行者通行者数は55,510人及び夜間人口は3,274人と目標値を下回った。										
II 定量的指標の達成状況			指標① 歩行者通行者数人／日	最終目標値	77,554人／日	目標値と実績値に差が出た要因	中新町ウエスト地区、中新町センター地区及び古川一丁目地区での優良建築物等整備により一定の事業効果があったが、地区全体の回遊性向上に大きな影響を与える青森駅周辺整備推進事業が途上であることが考えられる。						
				最終実績値	55,510人／日（H30）								
			指標② 夜間人口人	最終目標値	3,737人	目標値と実績値に差が出た要因		中新町センター地区及び古川一丁目12番地区の事業効果以上に、少子高齢化・人口減少の進行による影響が大きかったと考えられる。					
				最終実績値	3,274人（H30）								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）													

3. 特記事項（今後の方針等）												
現在、平成30年3月に策定された立地適正化計画に基づく都市機能誘導区域（青森駅周辺地区）に設定しているところであり、今後は当該計画に基づいて社会資本整備を進めることとなるが、質の高い生活空間の形成に向けては、引き続き、民間によるまちづくりに関する事業や活動等を適切に支援・誘導に努める。												

(参考図面) 地域住宅支援

